



ボクは
母の日に
カーネーション
をプレゼント
したよ!

はぐ便り

2024年
5月号
【110号】

子どもたちのメディアとの上手な付き合い方

子どもたちは、生まれた時からテレビやスマホ、インターネットなど多くのメディアに囲まれて生活しています。メディアと接する時間が多くなると、体力の低下、言葉の発達の遅れなど、様々な影響が心配される一方、これからの時代は、情報活用能力が求められ、将来どのような職業に就いたとしてもデジタル技術の活用は不可欠とも言われています。

現在、各学校ではICT（情報通信技術）を活用した教育が行われています。小学校に入学すると、1人1台ずつ学習用端末が与えられることから、入学前からタブレット学習を取り入れているご家庭も増えているようです。

※メディア…ここでは、テレビ、DVD、スマホ、タブレット、パソコン
インターネット動画、ゲームなどを指します。



家庭でのタブレット学習で心がけることは？

1 親がそばについてみましょう

子どもの学習能力は、親が思うより高いものです。勝手に操作を進めないよう見守ることが大切です。親子で一緒に会話しながら、操作するのもよいですね。

2 時間を決めて取り組ませましょう

長時間画面を見続けることがないよう、休憩を入れたり、時間を決めて終了させるなど、親が主になって家庭内のルールを決めましょう。

3 受け身にさせないようにしましょう

「見るだけ」「聞くだけ」では、「調べる力」「考える力」が身に付きません。文字を描いたり、図形を動かしたりするアプリを利用するなど、自分の考えを表現することが良いと言われています。



やりすぎはよくないと
お母さんは思うよ。

1日何分にするか一緒に考えよう。



乳幼児期は、心とからだの基礎を作る大切な時期です。
メディアを上手に利用できるよう、
できるところから工夫してみましょう！

★メディア以外の楽しみを充実させよう！

外遊び・体験活動 よく食べる、よく眠れるようになり、生活リズムも整います。

お手伝い 自分でできることが増えるだけでなく、「家族の役に立った」と感じることで、自己肯定感も高まります。



読み聞かせ おはなしの楽しさとともに親の愛情を感じとり、豊かな感性が育まれます。

昔の遊び けん玉、お手玉、こま回し、めんこ…。

五感をフルに活用する昔の遊びは、脳を活性化させ、思考力を発達させると言われています。



イベントや講座に参加しよう！

市内の公民館や図書館では、おはなし会や工作など、親子で楽しめる催しがたくさんあります。

広報もりおか、盛岡市ホームページでお知らせしています。



読むたびに
心がほっこり
はぐり柳



盛岡市家庭教育情報通信『はぐ便り』2024年5月号
【第110号】令和6年5月15日発行
発行者・問合せ：盛岡市教育委員会 生涯学習課
住所：盛岡市津志田14-37-2 TEL:019-639-9046
E-mail:edu.sgs@city.morioka.iwate.jp

